

三重地域会会員研修会

第4回例会時に会員研修会を行いました。法人協会の(株)LIXILさんに「環境性能の高度化による外装の最新傾向」「省エネ基準対応と今後の住宅の流れについて」という演題で講義をしていただきました。

現在、建築界の話題は、2025年4月から施行される建築基準法改正です。その告示表題が「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」となっていることからわかるように法の目的が2050カーボンニュートラル、2030年度の温室効果ガス排出削減目標(2013年度比46%削減)の実現に向けたものとなっています。全ての建築物



に省エネ基準適合義務化されます。

講演の中に、エンボディドカーボンとオペレーショナルカーボンの解説がありました。前者は、建設にかかる原材料調達から加工、輸送、建設、改修、廃棄時のCO2排出量。後者は、住居時建物使用時のエネルギー使用によるCO2排出量です。省エネ基準は、

高性能窓・ZEB・ZEHが普及していくことでCO2削減を促進させるという目的ですが、逆に材料加工時のCO2も増加します。高性能なサッシでオペレーショナルカーボンを小さくしても、より多くのガラスや他の原材料の使用で増えるエンボディドカーボン。それらを合計したトータルカーボンを考えなければ本来の脱炭素にはならないことを建物の仕様を決定する者として考えさせられる講義でした。



西出 章 (JIA三重)
(株)森永建築設計事務所

自作自演 265

螺旋階段



出会いからはじまる家づくりなのですが、こんな方が「玄関がどこにあるのか、わからない家がほしい…」

こんな方も「父の椅子 男の椅子」宮脇彩さんの本を机に、「私の好きな椅子が似合う家を作ってほしい…」

そしてこんな方も「どこに居たの、ずっと探してました。」

ご縁とは不思議です「どうして僕を…、私との相性がいいから…」

思いもかけない言葉からはじまる家づくり。忘れられない言葉、導かれる正解を探しに行く。スケッチに擦れる鉛筆と消しゴムの粉、自身と向き合っていく。

15年前に完成した家を訪ねました。この家には螺旋階段があります。今計画中のご夫婦と共に、何度も螺旋階段を上り下り、体験してみて納得できる、安心する。人とは違う物が欲しくなる。

「螺旋階段をチョイスする方、珍しい方ですね。」

螺旋階段の周りには、落ちたら大変と安全第一で急いで作った、赤ちゃん用の柵。そんなふうにも、ゆっくりと流れている時間、空気感。

「最近は大分 妥協してるのよ…」と奥様の変わらない微笑が、嬉しい時間でした。

「いやア、こんなに面白い階段、そんなに簡単に設計して良いものですか。住み手の皆さんにこの感覚、十分に味わってもらわなくては。」[宮脇檀の住宅設計テキスト]より

人任せに出来ない仕事がある。閃きを信じて。



山田 高志 (JIA愛知)
山田高志建築設計事務所